

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年 2月 8日

事業所名 放課後等デイサービスライム

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・園庭も有効活用し、身体を動かしたり、ルールのある遊びなどをしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・国の人員配置基準以上の配置を常に行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・PDCAサイクルを心掛け、支援前後には毎日ミーティングを行い、月に一度は全体ミーティングを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者の方々の意向を把握し、検討、改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・評価結果は、ライム玄関及びホームページに掲示します。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・現在は利用者と社内の評価のみになっています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・社内研修や外部研修を職員が受講し、支援の質を高められるようにしています。 ・立松先生の勉強会に毎月参加しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・契約時に保護者からニーズを把握したり、行動観察等踏まえ個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査結果の発達状況や、併用している関係機関での様子を把握し支援計画に生かしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・太田ステージを参考にしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員間で話し合い、月単位でプログラムを決めています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・児童の様子を職員間で共有し、プログラムに反映させています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・一人一人の発達に応じ、個別課題、集団適応、社会性の課題等、支援計画に入れています。	・選択活動を取り入れ始めました。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝のミーティングを毎日行い、活動内容や支援方法、注意点、職員の役割分担等を確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日支援後のミーティングを行い記録に残し、当日支援に入らなかった職員も共有できるように、後日確認してから支援に入るようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・個別支援計画の課題や状況、その日の様子、支援の振り返りを行いながら、日々支援日誌に記録しています。それらを次回の個別支援計画へつなげていきます。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・おおむね6ヶ月に一度、見直しを行い職員間で話し合い判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
関係機関や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・会議については、児童発達支援管理責任者、管理者、主任、保育士等、適任者を選んで出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・トラブルや気になる事があった時は、すみやかに連絡をとって確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・同社内の児発から上がってくる児童について、常に連携が取れている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・移行先や保護者の要望に応じ、必要ある場合に行います。 ・保護者の要望に応じ、サポートシートを活用し情報提供を行っていきます。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	・今年度はコロナ禍の為、行いませんでした。 ・活動の一つとして児童館は利用しています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・お迎え時に1日の様子を伝えて、保護者からのお話も伺い、課題や成長について共通理解を持ち解決に向けて話し合っています。 ・連絡帳を通して、お家での様子やタイムでの様子を伝えあっています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・ベアトレの保護者向け研修は行っていませんが、面談や送迎の際にお子様への対応などのアドバイス等お伝えできるように心掛けています。 ・ベアトレの研修会に参加した職員が、保護者向け研修ができるように準備を進めています。	
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明を行っています。ご不明な点は随時ご説明できるようにしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・送迎時や、電話等で必要な時に随時相談に応じています。 ・必要な場合は、事業所内での面談も実施しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		・父母の会はありません。土曜開所の際など保護者同士が交流する機会を今後は設けていきたいと思いをしています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情受付、解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約実に説明、同意を得ています。 ・苦情があった場合は、速やかに対応します。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月ルアナのお便りを発行し、行事の様子や連絡等お伝えしています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
等	35	個人情報に十分注意しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報が記載された書類については鍵付きの書庫に保管しています。 ・個人情報が載っている資料はシュレッダーにむかけることを徹底しています。 	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・写真や絵カード、言葉とともにジェスチャーを使用し、分かりやすい視覚支援等伝達方法を工夫しています。 ・その日の予定をボードに写真で貼り、目で見て分かるようにしています。 	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・行っていません。 	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・対応マニュアル等掲示し、職員への周知を行っています。 ・月に一度、利用者を含めた訓練をしている。 ・保護者に対して、ルアナのお便りにて報告・お知らせしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策マニュアルは令和5年度中に策定予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、子供にも分かりやすく伝えるように紙芝居や絵本を通して、説明し、落ち着いて訓練に参加できるように実施しています。 	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を設置し、適宜報告会議を行っています。 ・外部の研修に参加したり、社内研修を行ったりしています。 	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員間での共通認識として、行った場合には記録を残すことにしています。 ・対象児童がいる場合は、組織的に決定し、個別支援計画に記載することになっています。 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				<ul style="list-style-type: none"> ・該当児童がいません。 	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例があった場合、報告書に記入し、ミーティングを通して職員間で話し合い、対応策を共有しています。 		